

## 平成 20 年度卒業生フォローアップ調査

### 〈調査概要〉

目的：寄せられた意見を今後の広島大学の教育・研究の改善に活かし、優れた人材育成に繋げていく。

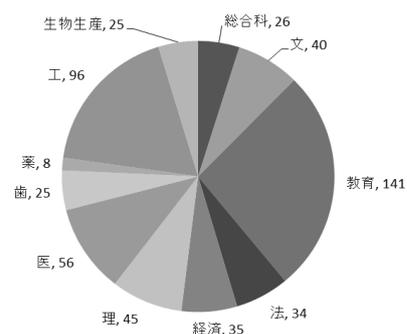
対象：平成 20 年度卒業生

方法：入学時の家族住所あて調査票を送付し本学あて返送。

期間：平成 27 年 12 月 25 日～平成 28 年 2 月 29 日

状況：発送数 2540，未達数 237，回収数 531，有効数 531，回収率 23.1%

内訳：総合科学部 26，文学部 40，教育学部 141，法学部 34，経済学部 35，理学部 45，医学部 56，歯学部 25，薬 8，工学部 96，生物生産学部 25

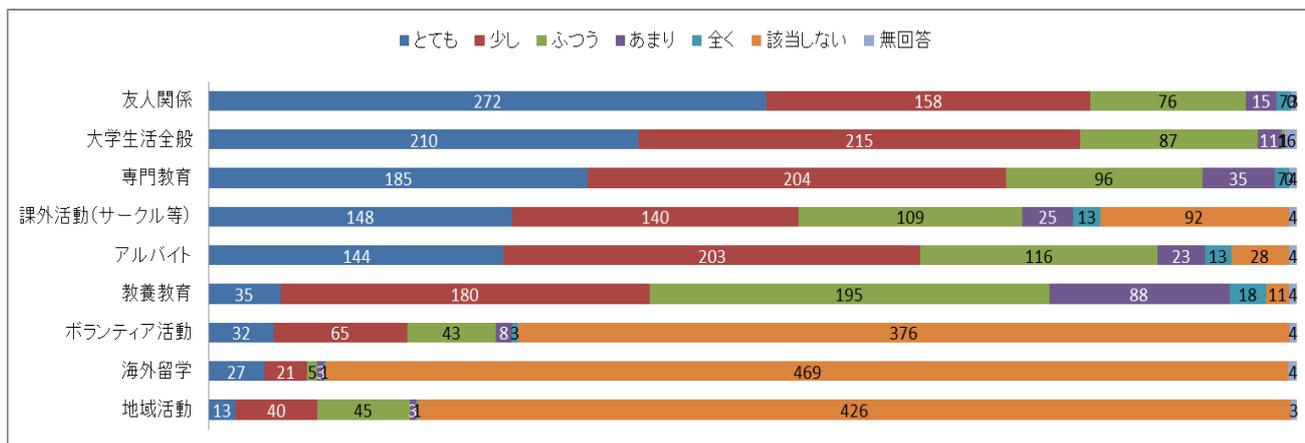


### 〈調査結果〉

#### 【質問】 5. 大学生生活全般の下の項目は、現在どの程度役に立っていますか？

1. 教養教育, 2. 専門教育, 3. 課外活動 (サークル等), 4. アルバイト, 5. 海外留学, 6. ボランティア活動, 7. 地域活動, 8. 友人関係, 9. 大学生生活全般

#### 【結果】



※上記グラフにおいて、「該当なし」「無回答」は除外していますので、項目の回答総数に誤差があります。

最も評価されていたのは、8. 友人関係である。ほとんどの学部が友人関係でコミュニケーション能力が養われた、また社会に出ても交友が続き、情報交換やプライベートの充実などに活かされているという意見が見られた。

2 番目に評価されていた 9. 大学生生活全般では、総合的に社会で役に立っているというような意見が見られる。特に社会人としての礼儀や知識を学ぶことができたという意見が多い。

3 番目に評価されていた 2. 専門教育に関しては、全学部共通で職場や資格取得において役立っているという意見が多く見られた。特に専門職の多いと思われる、法学・理学・医学・歯学・薬学・工学の学部では学んだ専門知識が現場で仕様する事が多いという意見が多かった。

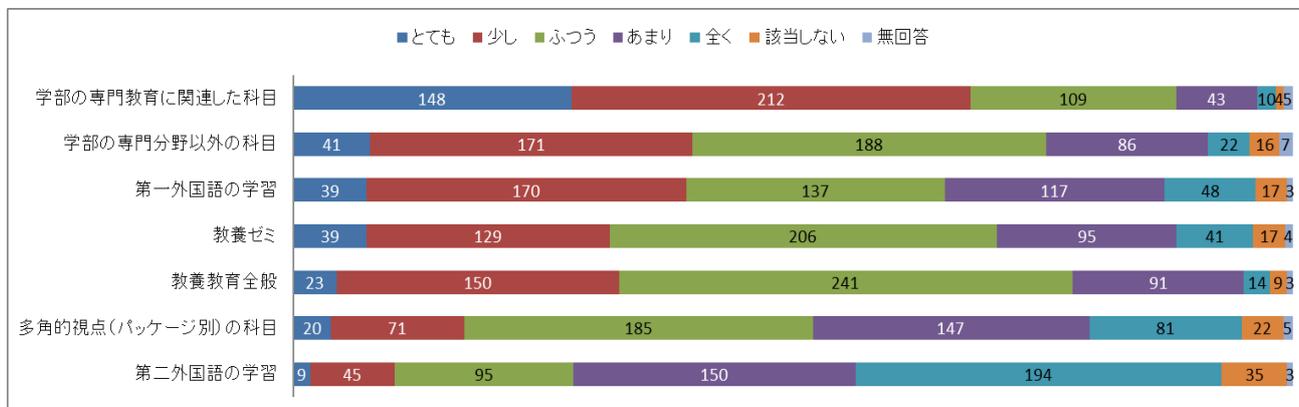
全体を通して、大学で学んだコミュニケーション能力・礼儀・知識が社会で役に立っているとの意見が多い。アルバイトやサークル活動は社会で通用するスキルを習得するには重要であり、かけがえのない経験だという評価が目立った。

(6. 学士課程教育について)

【質問】(1) 教養教育の下の項目は、現在どの程度役に立っていますか？

1. 第一外国語の学習, 2. 第二外国語の学習, 3. 多角的視点(パッケージ別)の科目, 4. 学部の専門教育に関連した科目, 5. 学部の専門分野以外の科目, 6. 教養ゼミ, 7. 教養教育全般

【結果】



※上記グラフにおいて、「該当なし」「無回答」は除外していますので、項目の回答総数に誤差があります。

最も評価されていたのは、4. 学部の専門教育に関連した科目である。学生の「印象に残っている」や、職場で活かせる知識として評価する意見が多かった。逆にもっと学びたかったという意見も目立った。在学時は一番興味のある科目であった事、社会に出て多くの卒業生が現場で必要性を実感したことが反省に至ったようである。

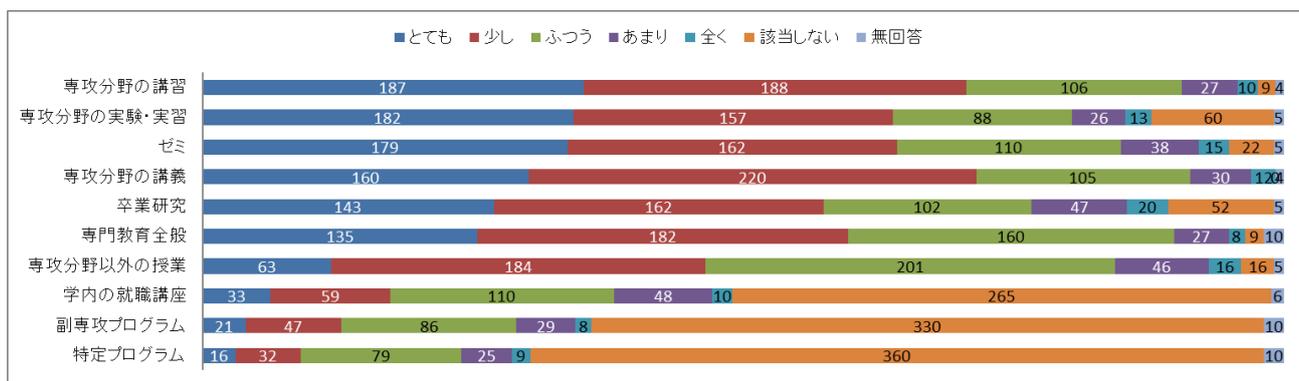
それ以外の項目については、どの学部も共通して「印象に残っていない」「卒業する為の単位修得におわれた」「英語は必要」という意見が多かった。それはグラフにも表れているように、2. 第二外国語を必要ないと感じる卒業生の意見が多かった。その時間を専門教育・第一外国語の学習に費やしたかったみたいである。

全体的にもっとしっかり学んでおけばよかったという反省意見が多い。

【質問】(2) 専門教育の下の項目は、現在どの程度役に立っていますか？

1. 専攻分野の講義, 2. 専攻分野の演習, 3. 専攻分野の実験・実習, 4. 専攻分野以外の授業, 5. ゼミ, 6. 卒業研究, 7. 副専攻プログラム, 8. 特定プログラム, 9. 学内の就職講座, 10. 専攻教育全般

【結果】



※上記グラフにおいて、「該当なし」「無回答」は除外していますので、項目の回答総数に誤差があります。

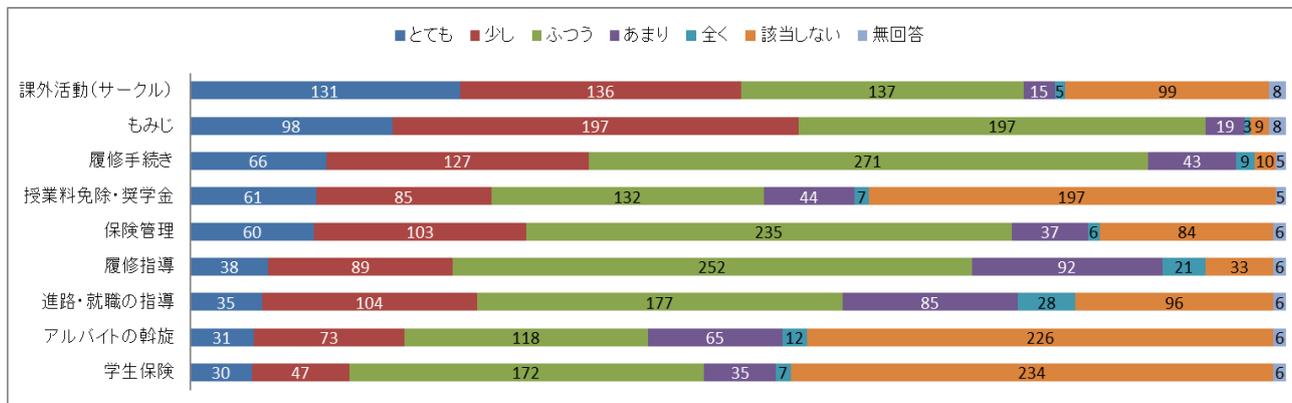
7. 副専攻プログラム, 8. 特定プログラム, 9. 学内の就職講座以外の項目は平均して高い評価が占めている。それは学習内容の高さ、先生方の熱意が社会に出た卒業生に大きな影響を与えているからと見られる。「現在の職場で役立っている」という意見や、「もっと学んでおけば良かった」という反省の意見の多さからうかがい知れる。教育学部においては、教育実習の経験が実際の現場で大きく役に立っているという意見が多かった。また、講義だけでなく実習をもっとやりたかった等の意見が多かった。特に専門職においては現場での専門知識が問われる為であろう、実践経験をもっと積みたかったという趣旨の不満や後悔の意見が多数見られた。

(7. 学生支援について)

【質問】 学生対応・支援で下の項目はどの程度、充実していましたか？

- 履修手続き, 2. 履修指導, 3. 授業料免除・奨学金, 4. もみじ, 5. 課外活動 (サークル), 6. アルバイトの斡旋, 7. 学生保険, 8. 保険管理, 9. 進路・就職の指導

【結果】



※上記グラフにおいて、「該当なし」「無回答」は除外していますので、項目の回答総数に誤差があります。

4. もみじ, 5. 課外活動 (サークル) が最も高評価意見が多かった。全体的に履修サポートや、アルバイト斡旋などの充実が学生生活で大変役に立ったようである。中でも 4. もみじの情報は、入学当初の学生の不安解消に大きく貢献しているらしく、また就職活動にも大きな影響を与えている。

それとは逆に、履修や進路・就職指導の面で事務職員への不満意見が多く見られる。職員によって態度や説明の内容に差があり、利用しづらい印象を与えていたようである。

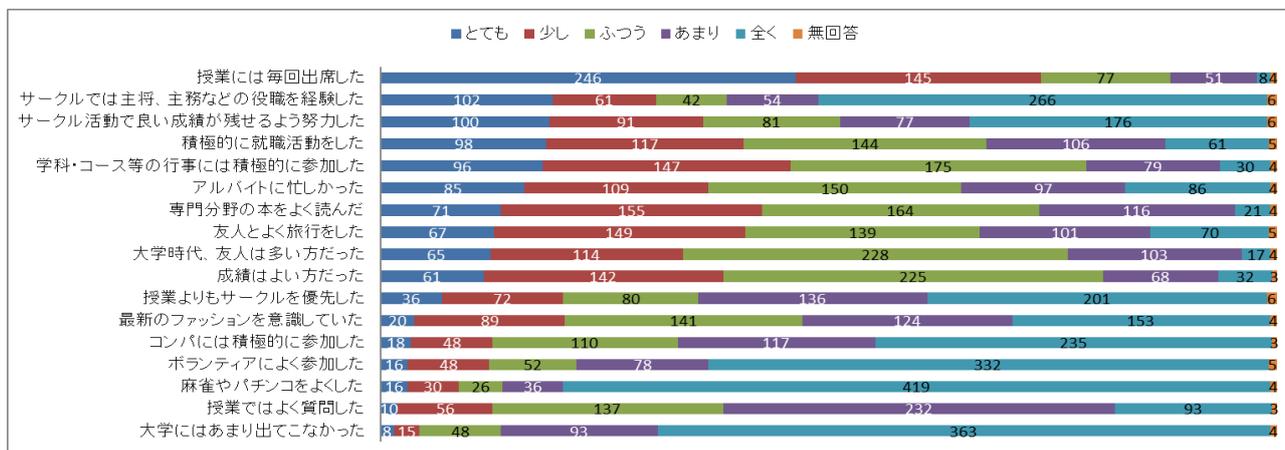
多くの学生が学校側からの支援より、先輩やシステムから情報を取得して自ら行動して解決していたようである。

(8. 学生生活について)

【質問】 (1) 下のような各項目は、学生時代のあなたにどの程度あてはまりますか？

- 授業には毎回出席した, 2. 授業ではよく質問した, 3. 成績はよい方だった, 4. 学科・コース等の行事には積極的に参加した, 5. 専門分野の本をよく読んだ, 6. 積極的に就職活動をした, 7. 授業よりもサークルを優先した, 8. サークル活動で良い成績が残せるよう努力した, 9. サークルでは主将、主務などの役職を経験した, 10. アルバイトに忙しかった, 11. ボランティアによく参加した, 12. 最新のファッションを意識していた, 13. 麻雀やパチンコをよくした, 14. 大学時代、友人は多い方だった, 15. コンパには積極的に参加した, 16. 友人とよく旅行をした, 17. 大学にはあまり出てこなかった

【結果】



最も評価が良かったものは①授業には毎回出席したであった。全体的に在学中、サークル活動とアルバイトで学生生活を謳歌した

## 平成 20 年度卒業生フォローアップ調査

という趣旨の意見が大半を占めていた。通学環境はそれぞれ差があったようだが、苦勞しながらも講義を受け、その後サークルとアルバイトに熱中したことが数値や意見に表れている。

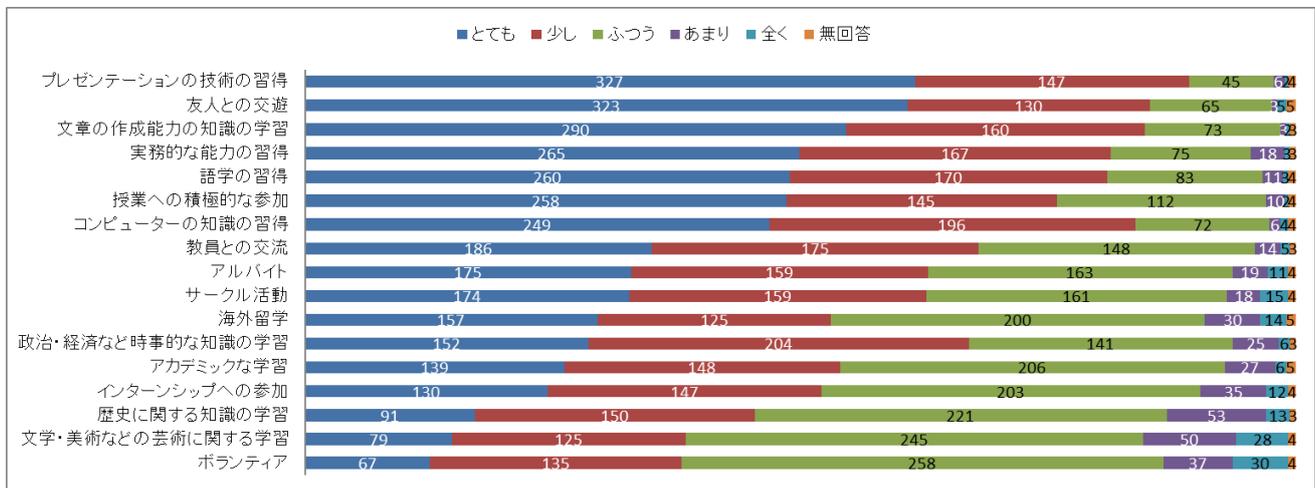
アンケート結果から見ると“あまり”や“全く”といった評価が目立つが、これは「もっとやっておけば良かった」という意見が多いことから、振り返ってみて反省や後悔などの意味としての評価が結果として出たようである。

どの学部の見ても学生生活や交友関係は満足していたようだが、更に多くの経験を積んでおけばよかったと社会に出て痛感しているようだ。

**【質問】(3) あなたが現在の学生にアドバイスするとしたら、次のような大学時代の学習や経験をどの程度すすめますか。**

1. 授業への積極的な参加
2. 教員との交流
3. 実務的な能力の習得
4. インターンシップへの参加
5. アカデミックな学習
6. 文学・美術など芸術に関する学習
7. 政治・経済などの時事的な知識の学習
8. 歴史に関する知識の学習
9. 文章の作成能力の知識の学習
10. プレゼンテーションの技術の習得
11. 語学の習得
12. 海外留学
13. コンピュータの知識の習得
14. サークル活動
15. アルバイト
16. ボランティア
17. 友人との交遊

**【結果】**



全ての項目において、学習や経験を強くすすめている。

どの学部の卒業生も共通して、「自由な時間有効に使う」「あらゆる経験はしておくべき」「スキルや資格はできるだけ身に付けた方が良い」「なんでも一生懸命に打ち込む方と良い」という意見を在學生に寄せている。

特に数値を見てもわかるように、友人関係やプレゼン能力は重要視されているようである。

コミュニケーション能力・PCスキル・プレゼンテーション能力が社会では最も重要という意見も多い。